

教材名（活動名） 日本文化紹介（お茶に関係すること）	学 校 名	三島市立北上中学校
	学年・人数	3年生 30人
	教 科 等	英語科
実施時期 平成27年5月下旬	授 業 場 所	教室
	連 携 機 関	なし
ねらい 英語で日本文化紹介（お茶に関すること）を書いて発表する。		
学習（活動）内容 【お茶に関する日本文化を英語で紹介しよう】 1 今日、みんなが班で協力して書いた「お茶に関する日本文化紹介」のスピーチを発表しよう。 We are talking about a yunomi. It's a Japanese tea cup. We use it when we drink tea. What's the difference, between a yunomi and a tea cup? A yunomi doesn't have a handle. We made a yunomi. We also drew pictures on a yunomi in Kyoto. It was really fun and a good memory for us. Why don't you try it? Green tea is commonly known as "tea". Tea was first made in China. There are many kinds of tea . Sencha is the most common green tea. Gyokuro is an expensive type. Bancha is lower grade of Sencha. Matcha is expensive and it is used in the Japanese tea ceremony. Shincha is the first month's harvested tea. Polyphenols are found in green tea. Drinking tea is good for our health. 2 各班の発表の良いところや改善すべきところを発表しよう。 ・アイコンタクトができていた点が良かった。 ・大きな声で、できていたところが良かった。 ・お茶の種類がわかりやすく書かれていた。 ・お茶に関係のある湯飲みに着目したことが良かった。		
成果 中国を起源とするお茶であるが、日本でいろいろなタイプのお茶が作られたことが、スピーチを通じて理解することができた。		
留意点 お茶は、日本の文化であると同時に、最近健康によいという点で日本だけでなく、世界で注目されていることを生徒に示すこと。		

教材名（活動名） Green tea Mission 2015 ～修学旅行で世界に相良・牧之原茶をPR!～	学 校 名	牧之原市立相良中学校
	学年・人数	3年生
	教 科 等	英語科 修学旅行
実施時期 平成27年5月中旬～下旬	授 業 場 所	教室→京都・奈良市内
	連 携 機 関	牧之原市役所
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・相良・牧之原茶を修学旅行先の京都で外国の方にPRする。 ・相良・牧之原茶をPRすることで、外国の方と英語で話す機会をつくる。 		
学習（活動）内容		
1 メッセージカードをつくろう ～英語の授業で～		
(1) メッセージカードの表紙には、「Would you like Makinohara tea?」などのタイトルを、裏表紙には相良中学校の住所と名前を記入。本文として、牧之原茶・相良・日本文化の紹介、お茶のおいしい淹れ方などのテーマを決めて記入した。		
(2) 生徒同士で声のかけ方や紹介の仕方を英語で話す練習をした。		
2 外国人旅行者にお茶とメッセージカードを渡そう ～修学旅行で～		
(1) 修学旅行で、牧之原市から提供されたお茶のティーパックと、1で作成したカードを京都や奈良で出会った外国人の旅行者に渡す。その時に、英語で話しかけ、牧之原茶や相良について、カードを使って紹介した。		
～生徒の感想～		
<ul style="list-style-type: none"> ・お茶のおかげで外国の方とたくさん話すことができました。 ・外国の人たちはとても優しくてすごく楽しかったし、よい体験になった。お茶を渡したらすごく喜んでくれてうれしかった。 ・外国の人にお茶を渡せてよかったです。牧之原市のお茶が世界に広まるといいなと思います。 ・アメリカの女性に渡すことができました。まだ日本のお茶を飲んだことがなかったみたいです。何となく言っていることがわかって驚きました。 ・ドイツの人とニューヨークの人に話しかけることができました。日本語のことや相良のことを聞かれ、またニューヨークのことを教えてもらいました。 		
成果		
<ul style="list-style-type: none"> ・お茶を紹介する機会を得たことで、外国人と英語で話せたことに喜びを感じた。 ・お茶が日本の文化の一つであることに、誇りを持つことができた。 		
留意点		
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に会話の練習を行うなど、リハーサルを行うことで、円滑なコミュニケーションが図れるよう努めた。 		

教材名（活動名） 日本茶（煎茶）の 飲み比べをしよう	学校名	焼津市立和田中学校
	学年・人数	3年1組 31名
	教科等	家庭科
実施時期 平成27年6月中旬	授業場所	調理室
	連携機関	なし
ねらい 市販のペットボトル入りの日本茶と、急須で淹れた煎茶の飲み比べをすることで、味の違いを感じ取る。		
学習（活動）内容 1 市販のペットボトル入りの日本茶を2種類（A・B）と、急須で淹れる煎茶（C）を用意する。 2 A,B はペットボトルから湯呑み茶碗に注ぐのではなく、急須に淹れて適温に温め、急須から湯呑み茶碗に注ぎ、味わってみる。 3 ペットボトルの商品名は明かさず、試飲させる。 4 飲んだ味の感想を用紙に記入する。 5 煎茶のおいしい淹れ方を指導しながら、班ごとに茶を淹れる。 A を最もおいしいと感じた生徒・・・4名 B を最もおいしいと感じた生徒・・・7名 C を最もおいしいと感じた生徒・・・14名		
		
6 次の授業から、班ごと分担を決めて調べ学習を進めよう。 ・お茶の歴史について調べる（歴史・民俗学的観点から） ・世界のお茶について調べる（理科・植物学的観点から） ・お茶の効能について調べる（栄養学的観点から）		
成果 ・約半数の生徒が急須で入れた煎茶のほうがおいしいと感じた。 ・何気なく飲んでいるお茶の味を意識させ、言葉で表現することができた。 ・急須で淹れた煎茶のおいしさを感じさせることができた。		
留意点 ・急須で淹れるお茶には、水道水ではなく、ミネラルウォーターを使用するとよい。		